

2002 年春季年会

# 年会プログラム

於 茨城大学

2002 年 3 月 28 日 (木) ~ 3 月 30 日 (土)

日本天文学会

<年会プログラムは、取り外せます。>

# 日本天文学会 2002 年春季年会プログラム

場 所 茨城大学 (案内図参照)

〒 310-8512 水戸市文京 2-1-1

電話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2002 年 3 月 27 日 (水) ~ 3 月 31 日 (日) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
3月27日 (水)							記者会見						
3月28日 (木)	A	R. 銀 河		(理事 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー	R. 銀 河		天文教育 フォーラム (A会場)					
	B	N. 恒 星				N. 恒 星							
	C	M. 太 陽				M. 太 陽							
	D	W. 飛翔観				W. 飛翔観							
	E	T. 銀河団											
	F	Q. 星 間				Q. 星 間							
	G	ジュニア セッション				ジュニア セッション							ALMA 特別セッション (G会場)
3月29日 (金)	A	R. 銀 河		ポ ス タ ー	(評議 員 会) 昼 休 み	R. 銀 河		総 会 受 付 終 了 ..... 総 会 議 室	研究奨励 賞受賞 記念講演	懇 親 会			
	B	N. 恒 星				N. 恒 星							
	C	M. 太 陽				M. 太 陽							
	D	W. 飛翔観				Y. 教育							
	E	A. しし群				A. しし群							
	F	Q. 星 間				V. 地上観							
3月30日 (土)	A	R. 銀河/S. 銀河核		ポ ス タ ー	昼 休 み	S. 銀河核							
	B	N. 恒 星											
	C	P. 星・惑星				P. 星・惑星							
	D	K. 天力/L. 太陽系				L. 太陽系							
	E	X. 情報/U. 宇宙論				U. 宇宙論							
	F	V. 地上観				V. 地上観							
3月31日 (日)							公開講演会 (一般対象)						

A 会場：共 教育棟 2 号館 10 番教室

B 会場：共 教育棟 2 号館 26 番教室

C 会場：共 教育棟 2 号館 37 番教室

D 会場：共 教育棟 2 号館 30 番教室

E 会場：共 教育棟 2 号館 46 番教室

F 会場：共 教育棟 2 号館 41 番教室

G 会場：人文学部講義棟 10 番教室

受 付：共 教育棟 2 号館 11 番教室

受付 (ジュニアセッション)：人文学部講義棟

ポスター会場：体育館

展示コーナー：ポスター会場

総 会 会 場：G 会場

懇 親 会 場：福利センター (生協食堂)

会 議 室：地域総合研究所 (2 F)

## ◎講演数・参加費用

講演数：合計 498

(口頭講演 (a) : 288、ポスター講演 (b) : 158、ポスター講演 (c) : 52)

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 6 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。名前の直前に○印のある著者が講演者です。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3 月 28 日の 9 : 30 から 3 月 30 日の 15 : 00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

## ◎会期中の行事

1. 記者会見：27 日 (水) 13 : 30 ~ 会議室  
学会講演の中から、3 ~ 4 のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. ジュニアセッション：28 日 (木) 10 : 00 ~ 12 : 00 G 会場  
14 : 00 ~ 15 : 50
3. 理事会：28 日 (木) 12 : 00 ~ 13 : 00 会議室
4. 天文教育フォーラム：28 日 (木) 16 : 00 ~ 17 : 30 A 会場
5. ALMA 特別セッション：28 日 (木) 16 : 00 ~ 18 : 00 G 会場
6. 評議員会：29 日 (金) 12 : 30 ~ 13 : 30 会議室
7. 総会：29 日 (金) 15 : 30 ~ 17 : 00 G 会場  
(15 : 30 ~ 16 : 00 総会出席者確認、16 : 00 総会開始)  
主な議題 = ○ 2001 年度事業報告  
○ 2001 年度決算報告・監査報告
8. 研究奨励賞受賞記念講演：29 日 (金) 17 : 00 ~ 17 : 30 G 会場  
「銀河の形成と進化の理論的・観測的研究」 児玉忠恭 (東京大学 助手)
9. 懇親会：29 日 (金) 18 : 00 ~ 福利センター (生協食堂)
10. 公開講演会：31 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 30 茨城県立図書館

◎第 4 回ジュニアセッション

主催：日本天文学会          共催：天文教育普及研究会  
後援：日本惑星協会、ブリティッシュ・カウンシル  
茨城県教育委員会、水戸市教育委員会、茨城大学

日時・場所： 2002年3月28日（木）10：00～12：00  
14：00～15：50          G会場（人文学部講義棟 10番教室）

（ポスター発表は年会会期中ポスター会場にて）

プログラム： 年会プログラム 46～48 ページに掲載

◎ALMA 特別 セッション「ALMA で探る宇宙—活動銀河の形成と進化—」

主催： 日本学術会議 天文学研究連絡委員会  
日本天文学会  
日本学術会議 電波科学研究連絡委員会 J 分科会  
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

日時・場所： 2002年3月28日（木）16：00～18：00 G会場（人文学部講義棟 10番教室）

概 要： ALMA（Atacama Large Millimeter/submillimeter Array; アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）計画は、日本・北アメリカ・ヨーロッパの三極による共同建設・共同運用を目指して、現在各極の予算確保の最終的な段階にあります。

我が国では 2002 年度予算に大型ミリ波サブミリ波干渉計の研究開発経費が認められる見しです。これにより我が国の最先端技術を駆使して設計・開発を進め、ALMA 計画の実現に向けて大きな第一歩を踏み出します。

本特セッションでは、ALMA 計画の最新の進捗状況を報告するとともに、ALMA で実現される高感度・高空間分解能・サブミリ波という周波数の窓が、日本および世界の研究にどのような新展開をもたらすかを考えます。星・惑星系形成（2001 年春季学会時）および銀河の形成と進化（2001 年秋季学会時）などの課題の検討に引き続き、今回は ALMA の重要課題である活動銀河の形成と進化を取り上げます。二講演の後、総合討論では我が国の各種の大型観測機器との研究協力や、それに関連した日本の研究体制の議論も行いたいと考えます。幅広い分野の研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

プログラム： 1. あいさつ（天文研連 池内 了 委員長）  
2. ALMA 計画の現状と今後（国立天文台 教授 川辺良平）  
3. ALMA で探る活動銀河の進化（東北大学 助教授 谷口義明）  
4. 活動銀河形成の諸問題と ALMA（京都大学 助教授 鶴 剛）  
5. 総合討論  
- ALMA と各種大型観測機器との研究協力-（司会：国立天文台 教授 井上 允）  
ショートコメント：ASTRO-E2、すばる、ASTRO-F、VSOP/VSOP2 関係者等

世 話 人： 池内 了（天文研連委員長、名古屋大学 教授）  
鶴 剛（京都大学 助教授）  
井上 允（天文研連委員、国立天文台 教授）

◎天文教育フォーラム 共催：天文教育普及研究会

テ ー マ : 「新しい天文教育・普及の流れが見えた？」

日時・場所 : 2002年3月28日(木) 16:00～17:30 A会場

概 要 : ここ数年、『日本HOU協会(JAHOU)』や『高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS)』などの有志団体が中心となって、学校とのリンクを視野に入れた天文教育活動が行われてきた。また『銀河学校』『君が天文学者になる4日間』など研究機関や公開天文台が中心となって行われる天文教育活動も増えてきている。これらの活動に共に見られるのは、学習者の自主性を重んじつつ、主催者が伝えたい事柄を伝えていこうという姿勢ではなかろうか。一本道を辿らせるのではなく、森の中を自由散策しながら必要な事柄を身につけるという方法である。

今回のフォーラムは実践活動の紹介にとどまらず、最近の天文教育・普及に共 する流れを見出し、今後の活動の良き礎とすることを目指したい。

参 加 費 : 天文教育フォーラムおよびジュニアセッションのみの参加者は、参加費(年会基本登録料)は不要です。年会受付で、その旨お伝えください。

実 行 委 員 : 吉川 真(宇宙科学研究所)、大島 修(岡山県立鴨方高校)  
浜根寿彦(ぐんま天文台)、松本直記(慶應義塾高校)

◎日本天文学会公開講演会 共催：茨城県立図書館

後援：茨城県教育委員会、水戸市教育委員会、茨城大学

テ ー マ : 「宇宙の歴史」

日 時 : 2002年3月31日(日) 14:00～16:30 (13:30開場)

場 所 : 茨城県立図書館 2F・視聴覚ホール(水戸市三の丸1-5-38)

対 象 : 中学生以上・一 向け

講 演 I : 「太陽系外惑星の発見：第2の地球は何処に」

講 演 者 : 東京工業大学・助手 田中秀和

1995年に、我々の太陽系外の、他の恒星を周回する惑星が発見された。それ以来現在までに、70もの太陽系外惑星が次々と観測されている。これら発見された太陽系外惑星達の多くは、我々の太陽系とは大きく異なるものであった。本講演では、これら太陽系外惑星の観測結 や、形成理論、将来における地球型惑星の観測計画などをわかりやすく紹介する。

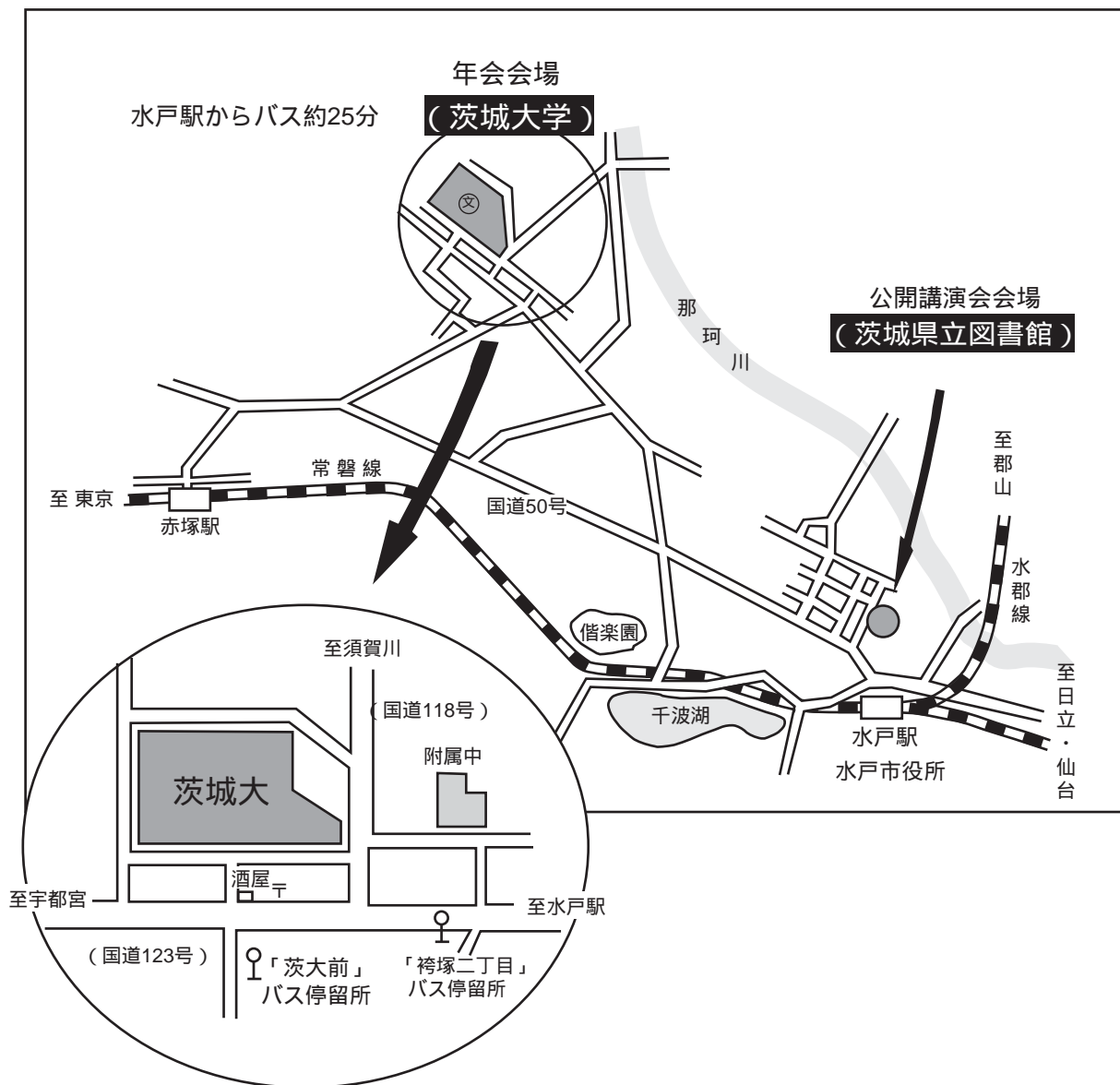
講 演 II : 「宇宙の過去はどこまで見えたか」

講 演 者 : 東京大学・教授 岡村定矩

光の速度は有限でありまた宇宙は極めて広大であるために、遠方の天体は過去の姿を見せている。しかしながら、宇宙の歴史150億年を遡れるほど遠方の銀河やクェーサーが、統計的な議論になじむほどの数まで観測できるようになったのは、ここ数年のことに過ぎない。すばる望遠鏡によるデータを中心とする最新の観測データに基づいて、銀河の進化や銀河間空間の再電離など、宇宙の過去に起こった出来事が、どれくらい見えて来たかをわかりやすく紹介する。

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。なお、駐車場は混み合うこともございますので、できるだけ公共の交 機関をご利用下さい。

## 春季年会会場（茨城大学）のご案内



### 交通案内

#### 茨城大学

JR水戸駅下車

北口バスターミナル7番のりばから「栄町経由茨大行」茨大前下車【所要時間 約25分】

茨城交通の路線番号

2・12・22・24・41・42・43・45（すべて栄町経由）

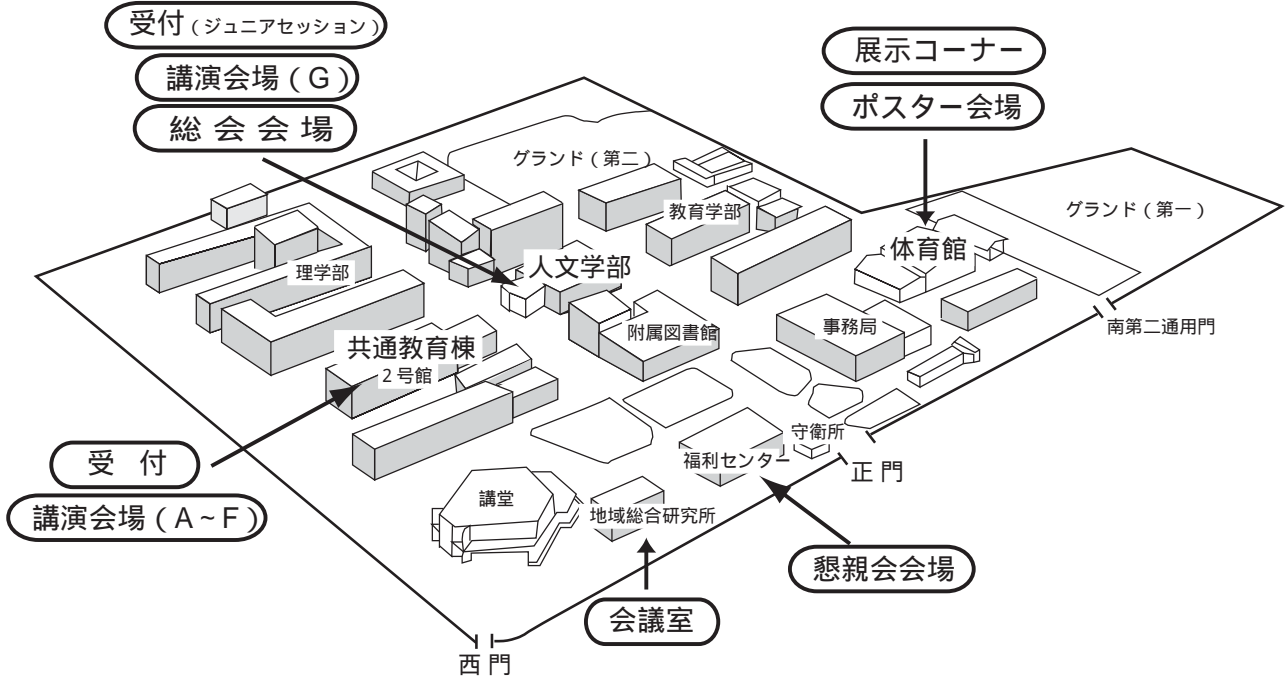
学内には駐車場はありません。公共の交通機関をご利用下さい。

#### 茨城県立図書館

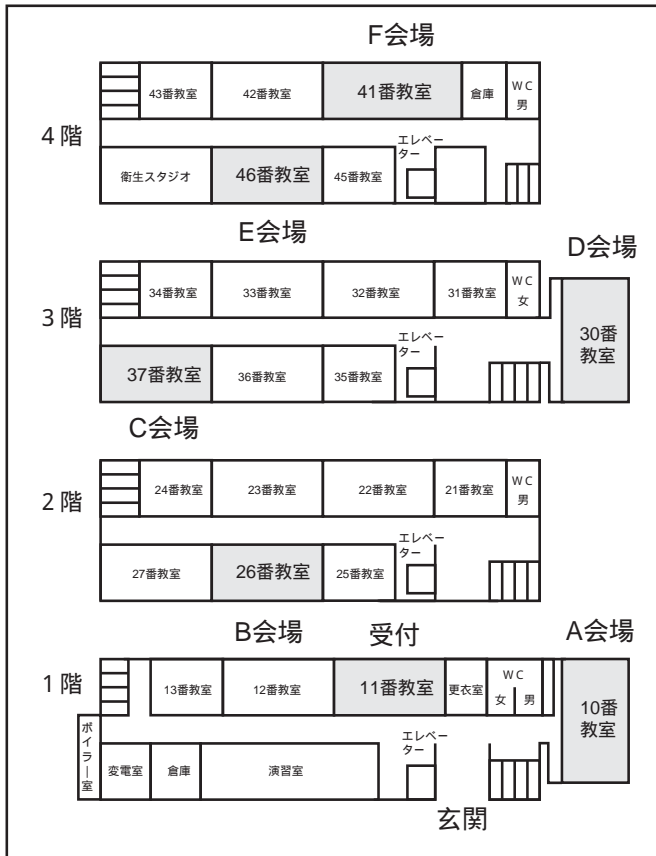
JR水戸駅下車、北口より徒歩約10分

# 年会会場案内図

茨城大学 水戸キャンパス



共通教育棟 2号館



- 受付：共通教育棟 2号館 11番教室
- 受付：人文学部講義棟 (ジュニアセッション)
- 講演会場
  - A会場：共通教育棟 2号館 10番教室
  - B会場：共通教育棟 2号館 26番教室
  - C会場：共通教育棟 2号館 37番教室
  - D会場：共通教育棟 2号館 30番教室
  - E会場：共通教育棟 2号館 46番教室
  - F会場：共通教育棟 2号館 41番教室
  - G会場：人文学部講義棟 10番教室
- ポスター会場：体育館
- 展示コーナー：ポスター会場
- 総会会場：G会場
- 懇親会場：福利センター (生協食堂)

口頭セッション

3月28日(木)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	<b>【銀河】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【飛翔観】</b>	<b>【銀河団】</b>	<b>【星間】</b>	
10:00	R01a	N01a	M01a	W01a	T01a	Q01a	ジュニアセッション
10:12	R02a	N02a	M02a	W03a	T03a	Q03a	
10:24	R03a	N03a	M03a	W04a	T04a	Q04a	
10:36	R04a	N04a	M04a	W05a	T05a	Q05a	
10:48	R05a	N05a	M05a	W06a	T06a	Q06a	
11:00	R06a	N06b, N07b	M06a	W07a	T07a	Q07a	
11:12	R07a	N09a	M07a	W08a	T08a	Q08a	
11:24	R08b, R09b, R12b	N10a	M08a	W09b - W11b	T09a	Q10a	
11:36	R13b - R15b	N11a	M09b - M11b	W12b - W14b	T10a	Q11a	
11:48	R16b - R18b	N12a	M12b - M14b	W15a	T11b - T13b	Q12b - Q14b	
12:00	R19b		M15b		T14b		
	昼休み						
13:00	ポスター						
	<b>【銀河】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【飛翔観】</b>		<b>【星間】</b>	
14:00	R20a	N14a	M17a	W16b - W18b		Q15a	ジュニアセッション
14:12	R21a	N15a	M18a	W19b - W21b		Q16a	
14:24	R22a	N16a	M19a	W27a		Q17a	
14:36	R23a	N17a	M20a	W28a		Q18a	
14:48	R24a	N18a	M21a	W29a		Q20a	
15:00	R25a	N19a	M22a	W30a		Q21a	
15:12	R26a	N20a	M23a	W31a		Q22a	
15:24	R27a	N21a	M24a	W32a		Q23a	
15:36	R28a	N22a	M25a	W33b - W35b		Q24a	
15:48	R29a	N23a	M26b - M28b	W36b - W38b		Q25b - Q27b	
16:00	天文教育フォーラム (A会場)			ALMA特別セッション (G会場)			
17:30							
18:00							



口頭セッション 3月29日(金)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
	<b>【銀河】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【飛翔観】</b>	<b>【しし群】</b>	<b>【星間】</b>
09:30	R30a	N24a	M29a	W41a	A01a	Q28a
09:42	R31a	N25a	M30a	W42a	A02a	Q29a
09:54	R32a	N26a	M31a	W43a	A03a	Q30a
10:06	R33a	N27a	M32a	W44a	A04a	Q31a
10:18	R34a	N28b, N29b	M33a	W45a	A05b, A07b, A08b	Q32a
10:30	R35a	N30a	M34a	W46a	A09b - A11b	Q33a
10:42	R36a	N31a	M35a	W47a	A12b - A14b	Q35a
10:54	R37a	N32a	M36a	W48a	A16b - A18b	Q36a
11:06	R38a	N33a	M37a	W49a	A19a	Q37a
11:18	R39b - R41b	N34b, N35b	M38a	W50a	A20b - A22b	Q38a
11:30				W51a	A23b - A25b A26b	Q39b - Q41b
	ポスター					
12:30	昼休み					
	<b>【銀河】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【教育】</b>	<b>【しし群】</b>	<b>【地上観】</b>
13:30	R42a	N40a	M39a	Y01a	A27a	V01a
13:42	R43a	N41a	M40a	Y05a	A28a	V02a
13:54	R44a	N42a	M41a	Y06a	A29a	V04a
14:06	R45a	N43a	M42a	Y07a	A30a	V06a
14:18	R46a	N44a	M43a	Y12a	A31a	V07a
14:30	R47a	N45a	M44a	Y14a	A32a	V08a
14:42	R48a	N46a	M45a	Y16b - Y18b	A33a	V09a
14:54	R49a	N47a	M46a	Y19b - Y21b	A34a	V10a
15:06	R50a	N48b - N50b	M47a	Y22b - Y24b	A35a	V11b - V13b
15:18	R51a	N51b - N53b		Y25b - Y27b	A36b - A38b	V14b - V16b
15:30	総会 (G会場) (15:30~16:00 総会出席者確認)					
17:00	研究奨励賞受賞記念講演 (G会場)					
17:30 18:00	懇親会 (生協食堂)					

口頭セッション

3月30日(土)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
09:30	【銀河】 R53a	【恒星】 N54a	【星・惑星】 P01a	【天体力学】 K01a	【情報処理】 X01a	【地上観】 V17a
09:42	【銀河核】 S01a	N55a	P02a	K02a	X02a	V19a
09:54	S02a	N56a	P03a	K03b - K05b	X03a	V20a
10:06	S03a	N57a	P04a	K06b	X06b - X08b	V22a
10:18	S04a	N58b - N60b	P05a	【太陽系】 L01a	X09b 【宇宙論】 U01b	V23a
10:30	S05a	N64a	P06a	L02b, L04b, L05b	U02a	V24a
10:42	S06a	N65a	P07a	L06b - L08b	U03a	V25a
10:54	S07a	N66a	P08a	L09a	U05a	V26b - V28b
11:06	S08b - S10b	N67a	P09b - P11b	L10a	U07a	V29b - V31b
11:18	S11b - S13b	N68a	P12b - P14b	L11b - L13b	U08a	V32b - V34b
11:30	S14b - S16b S17b	N69b, N70b	P15b, P16b			V35b, V36b
ポスター						
12:30	昼休み					
13:30	【銀河核】 S18a		【星・惑星】 P17a	【太陽系】 L14a	【宇宙論】 U09a	【地上観】 V37a
13:42	S19a		P18a	L15a	U11a	V38a
13:54	S20a		P19a	L16a	U12a	V39a
14:06	S21a		P20a	L17a	U13a	V40a
14:18	S22a		P21a	L18a	U14a	V42a
14:30	S23a		P22a	L19a	U15a	V43a
14:42	S24a		P23a	L20a	U16a	V44a
14:54	S25a		P24a	L21a		V45a
15:06	S26a		P25a			V47a
15:18	S27a					V48a
15:30	S28a					
15:42	S29a					

<p>【しし座流星群】 (24)</p> <p>A05b, A06c, A07b, A08b, A09b, A10b, A11b, A12b, A13b, A14b, A15c, A16b, A17b, A18b, A20b, A21b, A22b, A23b, A24b, A25b, A26b, A36b, A37b, A38b</p> <p>【天体力学】 (4)</p> <p>K03b, K04b, K05b, K06b</p> <p>【太陽系】 (10)</p> <p>L02b, L03c, L04b, L05b, L06b, L07b, L08b, L11b, L02b, L03b</p> <p>【太陽】 (11)</p> <p>M09b, M10b, M11b, M12b, M13b, M14b, M15b, M16c, M26b, M27b, M28b</p> <p>【恒星】 (26)</p> <p>N06b, N07b, N08c, N13c, N28b, N29b, N34b, N35b, N36c, N37c, N38c, N39c, N48b, N49b, N50b, N51b, N52b, N53b, N58b, N59b, N60b, N61c, N62c, N63c, N69b, N70b</p> <p>【星・惑星形成】 (9)</p> <p>P09b, P10b, P11b, P12b, P13b, P14b, P15b, P16b, P26c</p> <p>【星間現象】 (14)</p> <p>Q02c, Q09c, Q12b, Q13b, Q14b, Q19c, Q25b, Q26b, Q27b, Q34c, Q39b, Q40b, Q41b, Q42c</p> <p>【銀河】 (16)</p> <p>R08b, R09b, R10c, R11c, R12b, R13b, R14b, R15b, R16b, R17b, R18b, R19b, R39b, R40b, R41b, R52c</p> <p>【活動銀河核】 (10)</p> <p>S08b, S09b, S10b, S11b, S12b, S13b, S14b, S15b, S16b, S17b</p>	<p>【銀河団】 (5)</p> <p>T02c, T11b, T12b, T13b, T14b</p> <p>【宇宙論】 (4)</p> <p>U01b, U04c, U06c, U10c</p> <p>【地上観測機器】 (24)</p> <p>V03c, V05c, V11b, V12b, V13b, V14b, V15b, V16b, V18c, V21c, V26b, V27b, V28b, V29b, V30b, V31b, V32b, V33b, V34b, V35b, V36b, V41c, V46c, V49c</p> <p>【飛翔体観測機器】 (26)</p> <p>W02c, W09b, W10b, W11b, W12b, W13b, W14b, W16b, W17b, W18b, W19b, W20b, W21b, W22c, W23c, W24c, W25c, W26c, W33b, W34b, W35b, W36b, W37b, W38b, W39c, W40c</p> <p>【情報処理】 (6)</p> <p>X04c, X05c, X06b, X07b, X08b, X09b</p> <p>【天文教育・その他】 (21)</p> <p>Y02c, Y03c, Y04c, Y08c, Y09c, Y10c, Y11c, Y13c, Y15c, Y16b, Y17b, Y18b, Y19b, Y20b, Y21b, Y22b, Y23b, Y24b, Y25b, Y26b, Y27b</p> <p>【ジュニアセッション】 (19)</p> <p>01, 02, 03, 05, 06, 07, 08, 09, 10, 11, 13, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23</p> <p>【展示コーナー】 (2)</p> <p>(株) ニュートリノ セイコーエプソン(株)</p>
--	---